

施策番号	25
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	5	自治・協働
主要施策名	25	広報・広聴
5年後のまちの姿	〇日常的に市民の間で様々なまちの情報が共有され、相互の情報交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市民が行政を身近に感じられるよう、市政情報を分かりやすく伝えとともに、市民が市政情報を入手しやすく、市政に対して意見や要望を伝えやすい環境を整備します。 市民等は、市政に対して関心を持ち、積極的に市政情報を入手し、自らの声を行政に伝えるよう努めます。	
実現に向けた取組	①接点の拡大と分かりやすい情報の提供 ②コミュニケーション型（対話型）行政の推進 ③市外に向けた市勢情報の発信	
施策担当課・係	総合政策課 広報情報推進係、行革協働係	
施策関係課・係	商工観光課 商工振興係、議会事務局 議会係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	30,178				
事務事業数	4				
うち、事務事業評価対象	2				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
胎内市公式ウェブサイトのアクセス数〔年間〕	千セッション	607	625					607
市政に対する意見・要望（市長への手紙、市報アンケート、ホームページの各課問い合わせ）の受付数	件	548	548					600
主要な計画の策定や見直しに当たりパブリックコメントを実施した割合	%	100	100					100
成果指標による現状分析	ウェブサイトのアクセスについては、目標値を上回っているが、新型コロナウイルス関係の情報提供やワクチン接種予約によるアクセス数の増加であり、一時的なものとする。 意見・要望の件数は数年来一定の範囲において増減しており制度を周知し広聴機能を維持していく。 パブリックコメントについては、目標は達成しているものの絶対数が少なく、もっと積極的に行う必要がある。							

3 施策の進捗状況

達成度	〇概ね順調
評価の理由	施策の進捗状況は順調である。

4 取組の状況と今後の方向性

① 接点の拡大と分かりやすい情報の提供

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の提供媒体として活用が求められている市報たいないの更なる充実を図ります。 ・情報を必要とする人が、欲しいときに必要な情報を得られるよう、ホームページの更なる充実等を図り、SNSでの情報発信も積極的に行います。 	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民からの写真の投稿の掲載（R4年度4件） ・ホームページの巡回確認を行い掲載コンテンツの見直しを実施した。 ・市議会のインターネット中継を実施した。 	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・特集記事の掲載の継続。 ・見やすさの向上のためデザインの見直しをする。 ・市民の声も積極的に掲載する。 ・市報の発行回数の検討。各世代で考え方が違い高齢者は今までどおり、若い世代は減らした方が良いとの回答が多く、デジタル化が進み受け入れられるようになった際に再考する。継続した課題とする。 ・ホームページ掲載コンテンツの見直し・見やすさの向上のため引き続き巡回確認を実施する。 	

② コミュニケーション型（対話型）行政の推進

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決に向けて、市民の多様な意見を施策の検討や改善に反映するため、パブリックコメントの実施、公募委員の参画やワークショップの開催等を更に進めるとともに、座談会や要望相談等行政に建設的な意見や要望を提出する機会を増やします。 ・市民の意見や要望を適切に市政に反映するよう努めるとともに、寄せられた意見や要望の対応状況を公開する新たな仕組み等の導入を検討します。 ・市政への理解の促進と胎内市のファンの拡大を目指して、アカウントの整理や活用の拡大をはじめとするSNSの運用の改善を行い、市民と行政の情報交流を促進します。 	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協働座談会を4回開催し、延べ94人参加があった。対象としては、自治会のほか中小企業の方々と座談会も開催した。また、市民や市民団体・企業との懇談会・会合についても市長が出席し意見交換等を行った。（27件） ・市長への手紙について、用紙・封筒を9施設に設置 市報アンケートで寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。 市報モニターから寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。 ・市のSNSを開設している。Facebook→14、Instagram→8、X（エックス）（旧Twitter）→3、YouTube→3。SNSではないがCookpad→1。市全体の情報をfacebookとX（エックス）で発信しており、その他事業や施設単位で情報発信を行っている。 	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響でR2・R3年度は座談会の開催ができなかった。今後、改めて開催の働きかけを行い、集落単位のコミュニティでの開催のほか企業、学生等の多様な視点での意見交換の機会を設けていく。 ・SNSアカウントの更新頻度が少ないものは更新を促す。頻度の向上が見込めないものは整理するなど運用を改善する。積極的に情報発信するよう呼びかけをする。 	

③ 市外に向けた市勢情報の発信

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光・交流、移住定住、企業誘致等の促進を図るために、胎内市の情報を積極的に発信していくとともに、新たな方策を検討します。 	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・市外向けに市勢要覧の冊子（印刷物）を作成し、電子データをホームページに掲載した。 ・胎内サポーターズクラブ向けにメールマガジンの発信（月1回）を始めた。（登録者数（総数）：R4→236人） ・郷人会開催 R4→1回66人 ・各県人会・郷人会の会員と交流する場を設け、市外に向けた情報発信を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中断していたが、R4年度一部再開。 ・市内企業見学ツアーの開催。地元企業合同説明会の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。 	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出も企図した「たいないサポーターズクラブ」の周知と市勢情報の発信を定期的に実施しサポーターの数を増やす。 ・郷人会は会員数の減少対策が課題となっている。会の存続と活性化のためには様々な機会を活用しての周知や現会員に協力を得ながら新規会員の獲得に努める。 	

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・市報について R5年度にリニューアルを行う予定であるが、情報が効果的に伝わっているかどうかなど外部の意見を参考にしながら、引き続き見やすい紙面づくりを進める。 ・ホームページについて 市報に掲載するイベントについて、ホームページのイベントカレンダーにも掲載するよう促していく。 ・市外への情報発信について 市外への情報発信はSNSが一番有効な手段であることからホームページとリンクして発信するようにし、アカウントを持っている課には積極的に情報発信をするよう促す。また「たいないサポーターズクラブ」の会員も年々増加してきており、メールマガジンで市の情報を拡散してもらうようにする。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4 事業費	R5 当初予算額		達成度	今後の 方向性	担当課	
			うち 一般財源	うち 一般財源				
520110	広報広聴事業	9,299	8,257	10,452	9,660	○	②	総合政策課
520310	胎内郷人会事業	79	79	2,295	1,015	×	⑤	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	520110		担当課	総合政策課		担当係	広報情報推進係		担当者			
事務事業名	広報広聴事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計					
基本政策	5	自治・協働	事業コード	大	52	広報・広聴		予算科目	款	02	総務費	
主要施策	25	広報・広聴		中	01	接点の拡大と分かりやすい情報の提供			項	01	総務管理費	
				小	10	広報広聴事業			目	03	文書広報費	
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意			関連例規				関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民と行政の円滑な情報交換を進めるため、市民が必要とする行政情報を市報やホームページ、SNS等を通じて幅広く提供するとともに、市民の意見を聴く機会の確保に努める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市報発行 市勢要覧の作成 ホームページ維持管理 SNSの投稿 市長への手紙
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	9,299	10,452			
国・県支出金	210	0			
地方債	0	0			
その他	832	792			
一般財源	8,257	9,660	0	0	0
人件費（千円）	9,537	0	0	0	0
正(h) ※事業費	5,092	0	0	0	0
委任(の) ※事業費	1,694	0	0	0	0
総事業費+人件費	18,836	10,452	0	0	0
財源「その他」内訳	広告掲載料 832千円				
事業費の主な支出内容	印刷製本費 5,204千円 通信運搬費 1,889千円				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数		
	目標	①21回 ②100回	①21回 ②100回	①21回 ②100回		
	実績	①21回 ②144回				
成果指標	名称	①市報への評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページアクセス数	①市報への評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページアクセス数	①市報への評価 ②市報アンケート ③ホームページ閲覧数 ④ホームページアクセス数		
	目標	①3.5 ②275枚 ③1,350千ビュー ④450千セッション	①3.6 ②275枚 ③1,500千ビュー ④490千セッション	①3.6 ②275枚 ③1,600千ビュー ④530千セッション		
	実績	①3.9 ②171枚 ③1,710千ビュー ④625千セッション				
	目標比	①111% ②62% ③127% ④139%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	産出・成果指標については昨年に比べ数値が下がっているものの概ね達成している。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

市ホームページの閲覧数、サイト訪問数などを解析する新ツールを導入した。定期的にSNS投稿により、着実にフォロワーを増やしている。R5年度に市報リニューアルのための検討を行い、表紙ロゴを変更した。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	市民からの投稿写真を募集している。市報モニターアンケートを行い、改善をしている。

7 事業の課題

1つの記事の文章量はそれほど多くないが、全体的に見ると多くなって見にくくなるので工夫が必要。市報編集作業に多くの時間を割いてしまい、他業務（SNS発信など）が疎かになってしまっている。多くの年代に情報を届けるためには計画的に情報発信が必要。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
市報発行日にはSNSでの情報発信も行う。他課の担当者にもばらつくことがないよう計画的に情報発信を促す。市民に身近なSNSとして、「LINE公式アカウント」を新たに開設する。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	520310		担当課	商工観光課		担当係	商工振興係		担当者		
事務事業名	胎内郷人会事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	5	自治・協働		事業コード	大	52	広報・広聴		款	07	商工費
主要施策	25	広報・広聴			中	03	市外に向けた市勢情報の発信		項目	01	商工費
					小	10	胎内郷人会事業		目	01	商工総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連例規				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市を故郷とする各県人会と交流を深め、胎内市の発展を考える場を設ける。
主な実施内容	各県人会・郷人会の会員と交流する場を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・東京胎内郷会（4月） ・関西胎内郷人会（5月） ・オール胎内郷人会（10月） ・中条郷会（3月）
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	年度内に4回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、開催が中条郷会のみだったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

各会において参加者の高齢化が進み参加人数が減少している。存続のためには事務局と連携した取組を進める必要があるが、コロナ禍により具体的な対策の検討が進まない状況にある。

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	79	2,295			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	1,280			
一般財源	79	1,015	0	0	0
人件費（千円）	140	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 82	0	0	0	0
会計年度 ※任用(h) 費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	219	2,295	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	通信運搬費：29千円 消耗品費：32千円				
単位コスト					
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	郷人会の開催にあたっては、各会の幹事と連絡・調整をしながら進めている。

7 事業の課題

高齢化等によって会員数が減少しているため、新規会員の獲得が課題である。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開催数	開催数	開催数	
	目標	4回	4回	4回	
	実績	1回			
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	
	目標	300人	300人	300人	
	実績	66人			
	目標比	22%			

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	⑤				
コロナ禍により連続して開催が中止となっていたことで状況の悪化が想定され、課題解決の糸口を見つけることも難しくなっている。再開となったら、まずは現会員へ参加を促したうえで、新規会員獲得に協力を依頼するとともに、新会員の募集を周知していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					